

COM待夢

88号紙
2017年4月28日



例年より少し遅咲きだった桜も散り、4月も終わりを迎えようとしています。そしてあつという間に5月の連休も間近ですが、皆さんのゴールデンウィークの予定はいかがですか？。さて今月の「ピカリンcom」は、先日サンピアセリーズで行われた高知工作センター親睦会の模様をお送りします。



工作センター親睦会 2017



今年の親睦会は例年のように団地内での花見ではなく、場所をサンピアセリーズに移して行われました。料理はバイキング形式にて和洋様々なものが用意されており、各メニュー美味しかったです。

また、各テーブルには各社社員がバラバラに座り、普段話したことのない方々とも交流を深めることができ、とても有意義な時間だったと思います。花より団子というべきか、桜はありませんでしたが、たまには違う雰囲気での親睦会もいいかもしれませんね。



は～い
来年は弊社が幹事となる親睦会を盛り上げていきますよ！



グッドスマイル♪



どれにしようかな



顔隠さないで～



色々な料理が美味しそうですね



Brain タイツウ

4月30日の答え

両者が、まったく同時に発砲しても、厳密に言えば、その両者からまったく同じ距離にいた人でなければ、銃声が一発に聞こえることはないはず。反対に、両者の発砲が、わずかにずれていても、音の届くのは、まったく同時という地点もある。したがって、この問題のようなケースは、決して不可解なことではない。

◎正解者 0名

△問題

変わった決闘が行われることになった。A、Bの二人が、自分のコップを図のように並べ、さらに、介添人がCかDに、毒薬の入ったコップを置く。この三つのコップで、一回に一つずつ、どちら側でも、隣り合ったコップに、毒薬を移しかえていく。そして、五十五回目に毒薬の注がれたほうが、それを飲まねばならない。あなたが介添人で、ひそかにAを勝たせたいと思つておられるとしたら、毒薬のコップを、CとDのどちらに置

